



扇 寿

能代市立第五小学校

学校報 NO. 4
令和7年 5月 30日
TEL. 58-2178 校長室

回 覧

自治会の皆様
お願いします

〈校 訓〉 夢にいどみ 人と和す

〈教育目標〉 進んで学び 心豊かで すこやかな子どもの育成

「いつも自分の都合良く物事が進むとは限らないのだな。その中で自分のベストを尽くして楽しめばいいのだな。」を学んだ運動会、大成功！

今年の五月ほど天気予報とにらめっこしたことはありませんでした。皆さんのおかげで運動会を実施することができました。体調を崩し、全校児童全員参加とはいきませんでした。次の教育活動で全員ががんばってくれると思います。ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。早朝から「よかったですね。できそうですね。他に手伝うことはありませんか？」と積極的で、運動会中も楽しそうに支援していただきました。また、応援マナーも良く、マイクで注意やお願いすることがほとんどなかったのも、スムーズに進み、終わった時に雨が降り始めるという行事にさせていただきました。誰がもっている運なのかは分かりませんがたくさんの方に「さすが、もってるねえ。」「奇跡的に晴れたね。」と言われました。



児童総会「課題、取組、振り返り、今年度の実践へ」

児童会総会で話し合いました。我々が一番意識しているのは安心安全です。いじめも無いように、傷つける言葉について日々指導しています。授業や休み時間、登下校中の事故も無いように第五小学校で「自分磨き」に取り組んでほしいと思います。子どもたちが自分事として問題を考える貴重な機会となりました。



早くもたくさんの表彰。学業との両立に取り組む子どもたち。

まだスタートして2ヶ月ですが、たくさんの表彰を受けています。先生達は、自分の時間に余裕があるとき応援に行きたいねと話しています。強いチームには「明るさ」「耐える力」「励ます力」が必要だと思います。これは本校が目指している学級力の向上ともつながります。

「明るさ」 前向き。緊張感さえも楽しむ。大人に対して絶対服従でもない。

「耐える力」ピンチでもあきらめない。涙を流しても努力できる。人のせいにならない。

「励ます力」仲間とつながっている。自分一人ではない。カバーし合える。

スポーツ少年団も学級も同じかなと思うことが多々あります。増田体育館で行われた女子のバスケットボール大会は、決勝戦前なのに私を見付けて明るく手を振ってくれました。失敗してもめげずに次のプレーで挽回しようとしていました。ピンチであっても仲間を信じみんなのできることを積み重ねていました。耐える力や励ます力を感じました。勝つためには厳しい作戦も乗り越えなければなりません。ミスしても「どんまい！次だよ！」と励ます仲間や保護者の声援が子どものがんばりを認められる、安心してプレーできることにつながっています。優勝して疲れ切って登校してきた子どもたちに「おめでとう。すごかったね。試合も応援もご苦労様。切り替えて勉強がんばれ！」と明るく、耐える力を付けるために励ましました。どの団体、個人も「心から応援してもらえぬ団体、人になってほしい」と思います。部活動で中学生に柔道を指導していた頃の熱い気持ちを久しぶりに思い出しました。

山田久志杯学童球技フィスティブアル優勝

県小学生（四年生以下）ティーボール交流大会
準優勝

県小学生春季ソフトボール大会準優勝

県J AーS S杯ミニバスケットボール大会優勝

A A Bカップミニバスケットボール大会優勝



お怒りの電話がありました！

「横断歩道の渡り方が悪い。」「道草して遊んでいる。」「大人は五しよっ子を心配しています。一人一人の行動は五小全体の評価になってしまうのです。良い発信をしていきましょうね。」